



## 令和3年度決算

(まちの財布)  
財政状況の健康診断

決算は、4月から翌年3月までに町のお金がどのように使われたかをまとめたものです。

令和3年度決算の町の財政（まちの財布）状況をお知らせします。

※決算のくわしい内容は、町ホームページをご覧ください。

図 財政管財課 ☎0178-56-4278



Point ① おいらせ町のお金の出入りは？

## 町の各会計のお金の出入り（決算額）を見てみましょう

## ☑ 一般会計の決算額

一般会計は、町税や国からの地方交付税の収入をもとに、福祉・教育・道路整備などの生活につながりのある行政サービスを行う会計です。

一般会計の決算収支は、歳入総額120億7,377万円（前年度比13億3,507万円減）、歳出総額116億9,413万円（前年度比13億7,893万円減）となり、いずれも前年度より減少しました。コロナ禍による特別定額給付金関連の補助金や給付金が令和2年度で終了したことがおもな要因です。

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	120 億 7,377 万円	116 億 9,413 万円	+ 3 億 7,964 万円

## ☑ 特別会計の決算額

特別会計は、特定の目的の事業を行う会計で、一般会計とは区別しています。

6つある特別会計の決算収支は、歳入総額 61億2,206万円（前年度比2,455万円減）、歳出総額59億5,089万円（前年度比4,563万円減）となり、いずれも前年度より減少しました。

会計名		歳 入	歳 出	差引額
特別会計	国民健康保険	23億3,529万円	23億609万円	+ 2,920万円
	奨学資金貸付事業	1,928万円	1,860万円	+ 68万円
	公共下水道事業	10億3,595万円	10億2,219万円	+ 1,376万円
	農業集落排水事業	1億3,655万円	1億3,365万円	+ 290万円
	介護保険	23億5,479万円	22億3,898万円	+ 1億1,581万円
	後期高齢者医療	2億4,020万円	2億3,138万円	+ 882万円
	合 計	61億2,206万円	59億5,089万円	

## ☑ 企業会計（病院事業）の決算額

企業会計は、民間企業のように利用料等により事業を行う会計です。町には病院事業会計があります。病院事業会計の収益的収支決算は、歳入総額 9億9,092万円（前年度比7,085万円増）、歳出総額 9億5,147万円（前年度比2,372万円減）で差引額3,945千円の純利益が生まれ、前年度の赤字から一転し、黒字になりました。

会計名		歳 入	歳 出	差引額
病院事業	収益の収支	9億9,092万円	9億5,147万円	+ 3,945万円
	資本の収支	6,129万円	7,158万円	△1,029万円
合 計		10億5,221万円	10億2,305万円	

※病院事業の資本的収支で不足になった分は、損益勘定留保資金で補てんしました。



## Point ② 町のお金の使い道は？

### 町民1人あたりに使われたお金とおもな事業

令和3年度の一般会計歳出総額を町民1人あたりに換算すると、1人あたりに使われたお金は46万1,781円（前年度比5万5千円減）になりました。コロナ禍による特別定額給付金事業が令和2年度で終了したことにより補助費等が大きく減る一方、子育て世帯への臨時特別給付金事業や住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業の実施により扶助費が大きく増えています。

<b>扶助費</b>  <b>12万4,855円</b> <b>(R2) 9万8,062円</b> 増加 児童、高齢者、障がい者の支援、医療費の助成 など	<b>物件費</b>  <b>6万6,165円</b> <b>(R2) 6万7,693円</b> 横ばい 給食の材料費、施設の光熱水費や管理費、町民バスの運行 など	<b>繰出金</b>  <b>5万3,205円</b> <b>(R2) 5万4,805円</b> 横ばい 一般会計から特別会計・公営企業会計への支出	<b>補助費等</b>  <b>5万796円</b> <b>(R2) 15万9,328円</b> 減少 特別定額給付金、消防・ごみ処理の負担金、コロナ対策支援 など
<b>人件費</b>  <b>4万9,388円</b> <b>(R2) 4万9,970円</b> 横ばい 議員の報酬、職員の給与、退職金の費用 など	<b>公債費</b>  <b>4万2,996円</b> <b>(R2) 4万4,011円</b> 横ばい 町が借りたお金(元金・利子)の返済	<b>投資的経費</b>  <b>2万9,973円</b> <b>(R2) 2万6,088円</b> 横ばい 道路・橋、学校等の工事、災害の復旧費 など	<b>その他</b>  <b>4万4,402円</b> <b>(R2) 1万7,010円</b> 増加 除雪費、道路・公園・施設等の補修・修繕、基金(貯金)の積立 など

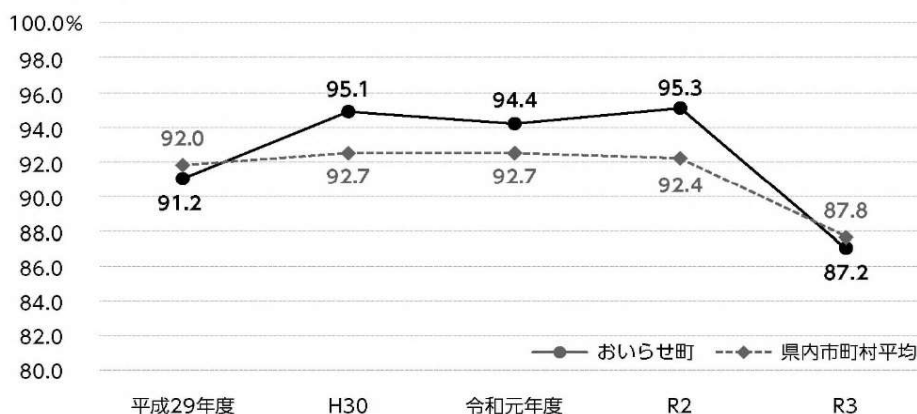


## Point ③ 町の財布は大丈夫？

### 財政の余裕度を表す数値「経常収支比率」

経常収支比率は、町税など「毎年経常的に入ってくるお金」を、福祉サービス費や人件費など「毎年経常的に出ていく費用」に使った割合のことです。おおむね70～80%が適正とされており、この数値が低いほど財政にゆとり（自由に使えるお金）があることを示します。当町の数値は令和3年度は87.2%と大幅に改善し、県内市町村平均よりもわずかに下回りました。

しかし、今の状況はコロナ禍の影響などによる一時的なものに過ぎません。今後は、人口減少や高齢化、社会保障費の増加や老朽化した公共施設の整備など、支出は右肩上がりに増加していき、ゆとりは年々なくなっていくことが見込まれるため、油断はできません。



今はゆとり(体力)があっても油断は禁物。将来を見据えた健全化の取り組み(体力づくり)が大切なんだ！

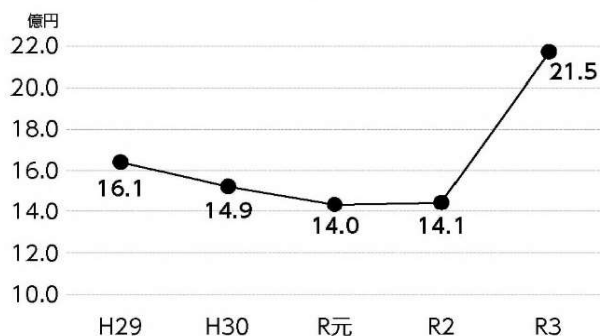






## Point ④ 町の財布は健康？ まちの財布の健康診断

## ☑ 町の貯金残高(財政調整基金)



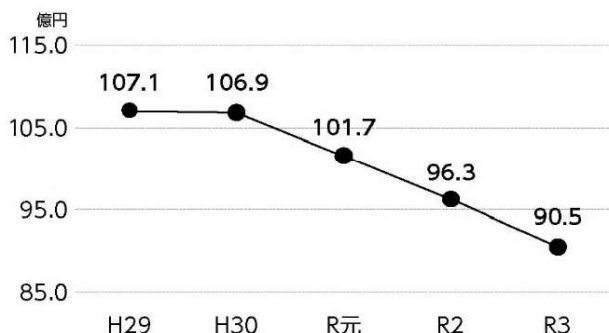
## 町の貯金残高

**21.5億円**  
まで増加  
(前年度比+7.4億円)

減少に歯止めがかかり  
ひと安心。  
今は、健康(健全)だけ  
ど油断は禁物。残高に  
注意！



## ☑ 町の借金残高(町債)



## 町の借金残高

**90.5億円**  
まで減少  
(前年度比△5.8億円)

少しずつ減ってきたけど、  
まだたくさん残っているね。  
借金返済は計画的に！



## ☑ 財政健全化判断比率(まちの財布の健康状態のチェック)

財政健全化判断比率は、財政の健康状態(健全性)をチェックする数字です。健康診断の結果に例えると、早期健全化基準は【要検査(危険な状態)】、財政再生基準は【要治療(破綻状態)】を指します。当町は、この基準を超えていないため【健康(安全)】な状態と言えます。

\\ ☺健康 //

☹要検査

☹要治療

項目	指標の説明	おいらせ町	比較 (県内市町村)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	一般会計等の赤字の割合	赤字なし	該当なし	11.25% ~15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計等の全会計 の赤字の割合	赤字なし	該当なし	16.25% ~20.00%	30.00%
実質公債費比率	年間の借金返済の割合 (3か年の平均)	10.8%	9.6%	25.00%	35.00%
将来負担比率	将来負担が見込まれる 負債の割合	数値なし	36.4%	350.00%	
資金不足比率	公営企業会計の資金不足の割合	不足なし		20.00%	